

1 新潟県のスポーツ行政

(1) 新潟県スポーツ推進プランの概要

1 趣旨

スポーツ基本法の制定、東京オリンピック・パラリンピック開催決定など、本県を取り巻くスポーツ情勢の変化に対応するとともに、「生涯スポーツ社会」の実現に向け、スポーツの経験や年齢・性別・障害の有無などにかかわらず、県民の誰もがスポーツを楽しむことができる環境づくりを進め、スポーツを通じて豊かな生活を送る社会の実現を目指す。

2 位置づけ

- 「新潟県総合計画～住んでよし、訪れてよしの新潟県～」のスポーツ部門の計画
- スポーツ基本法に基づく地方スポーツ推進計画

3 期 間 平成 28(2016)年度～令和 6(2024)年度（9年間）

4 ビジョン 「県民がスポーツを通じて豊かな生活を送る社会」の実現

5 目 標 「スポーツ振興と地域活性化の好循環」の創出

6 施策の柱

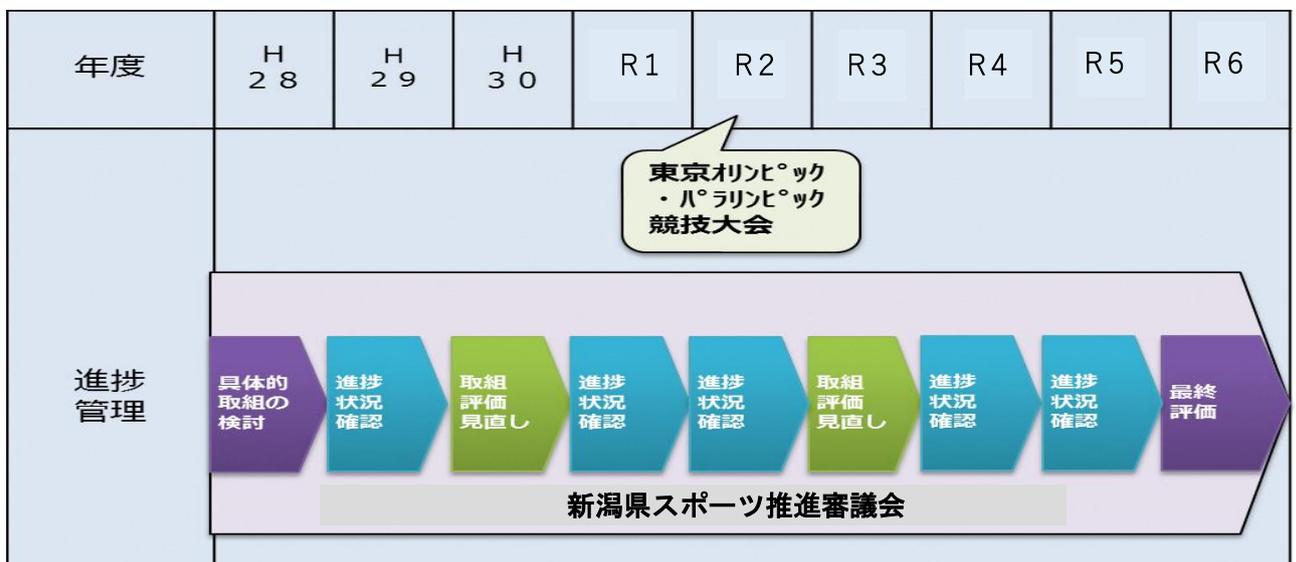
施策の柱 1	<ul style="list-style-type: none">■ 地域全体が主体的に連携・協働する仕組みづくり<ul style="list-style-type: none">○ スポーツ振興の意義への理解とスポーツへの主体的取組を促します。○ 地域の人や組織の連携・協働体制を構築します。○ 地域スポーツの推進拠点、地域連携の結節点となる総合型地域スポーツクラブを育成します。
施策の柱 2	<ul style="list-style-type: none">■ 競技力向上とスポーツへの親しみ度に応じた施策の推進<ul style="list-style-type: none">○ アスリートの競技力向上と新潟県への定着を図ります。○ スポーツ愛好者が楽しむ機会を拡充します。○ スポーツに親しみのない人々の参加を促します。
施策の柱 3	<ul style="list-style-type: none">■ 年齢・性別・障害の有無等に応じた施策の推進<ul style="list-style-type: none">○ すべての世代がスポーツを楽しむことができる環境をつくります。○ スポーツを楽しみながら健康づくりに取り組むことができる環境をつくります。○ スポーツや遊びを通じて子どもの身体づくり、体力づくりを進めます。○ スポーツを通じて高齢者の生きがいづくりや社会参加を進めます。○ 体力や技術に自信がない人やスポーツが苦手な人でもスポーツを楽しめる環境をつくります。○ 障害者が身近な場所や機会にスポーツに親しむことができる環境をつくります。
施策の柱 4	<ul style="list-style-type: none">■ 地域資源を活用した受入体制づくりと新潟県のスポーツの魅力発信<ul style="list-style-type: none">○ 地域資源を活用して自ら価値を生み、来訪者を集める取組を促進します。○ 大規模イベントの誘致・開催、地域密着型プロスポーツの振興により、新潟のスポーツの魅力を高めます。○ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたスポーツ振興・地域活性化の取組を進めます。

7 成果指標

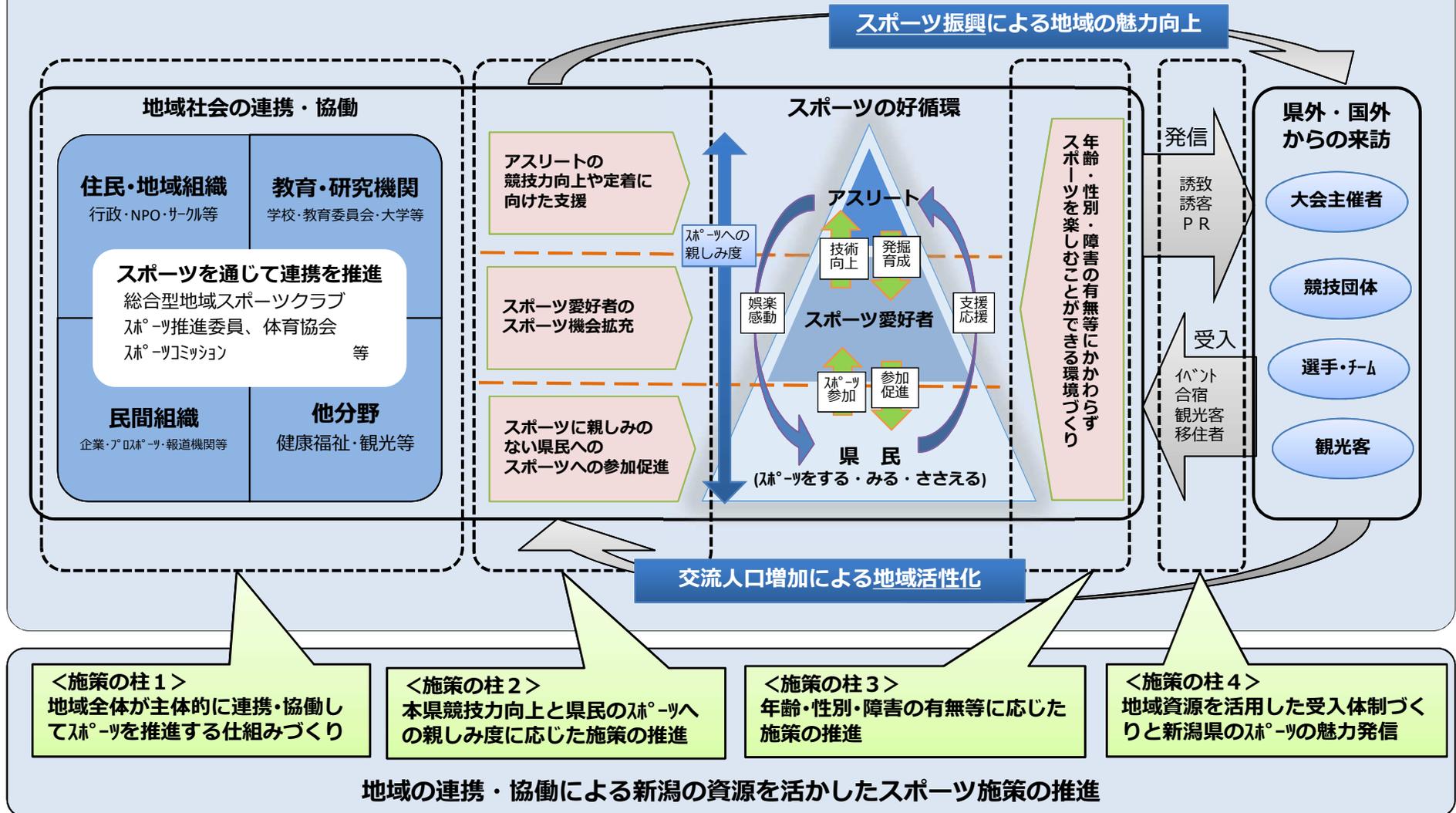
成果指標	関連主要施策
<p>●本県成人の週1日以上スポーツ実施率</p> <p>目 標：65%以上とする。</p> <p>現 状：令和6（2024）年度 50.7%</p>	<p>[施策の柱2]</p> <p>■ 競技力向上とスポーツへの親しみ度に応じた施策の推進</p> <p>[施策の柱3]</p> <p>■ 年齢・性別・障害の有無等に応じた施策の推進</p>
<p>●国体総合成績</p> <p>目 標：10位台を定着させる。</p> <p>現 状：令和6（2024）年 35位</p>	<p>[施策の柱2]</p> <p>■ 競技力向上とスポーツへの親しみ度に応じた施策の推進</p>
<p>●本県児童生徒の体力テスト数値</p> <p>目 標：全国平均以上を維持し、昭和60年頃の水準を超える</p> <p>現 状：令和5（2023）年度 小学5年男子の50m走を除き、全国平均値以上を維持しているが、反復横跳び以外は昭和60年度の全国平均値に届いていない</p>	<p>[施策の柱3]</p> <p>■ 年齢・性別・障害の有無等に応じた施策の推進</p>
<p>●障害のある人とない人がともに参加しているスポーツ教室・イベント等がある市町村数（※R4.3追加）</p> <p>目 標：30市町村</p> <p>目標年次：令和6（2024）年度</p> <p>現 状：令和5（2023）年度 23市町村</p>	<p>[施策の柱3]</p> <p>■ 年齢・性別・障害の有無等に応じた施策の推進</p>
<p>●大規模スポーツイベント観戦者数</p> <p>目 標：H26（2014）年度（696千人）から増加</p> <p>現 状：令和5（2023）年度 711千人</p>	<p>[施策の柱4]</p> <p>■ 地域資源を活用した受入体制づくりと新潟県のスポーツの魅力発信</p>

8 プランの推進体制

新潟県スポーツ推進審議会を開催し、プランの実践に向けた具体的な取組や役割の検討、進捗状況の確認、実績の評価、プランの見直しを行う。



【目標】 スポーツ振興と地域活性化の好循環の創出

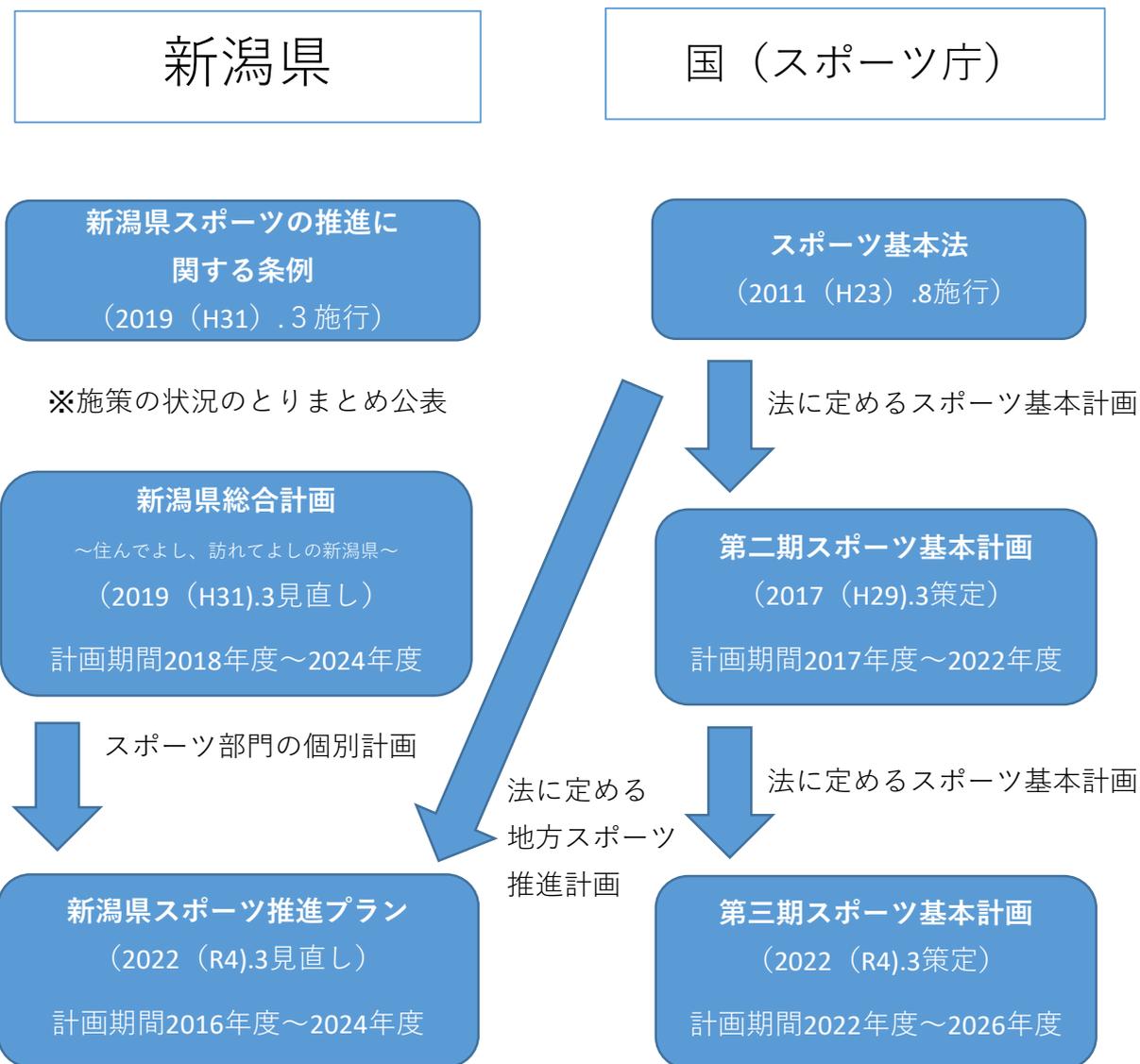


スポーツの活用

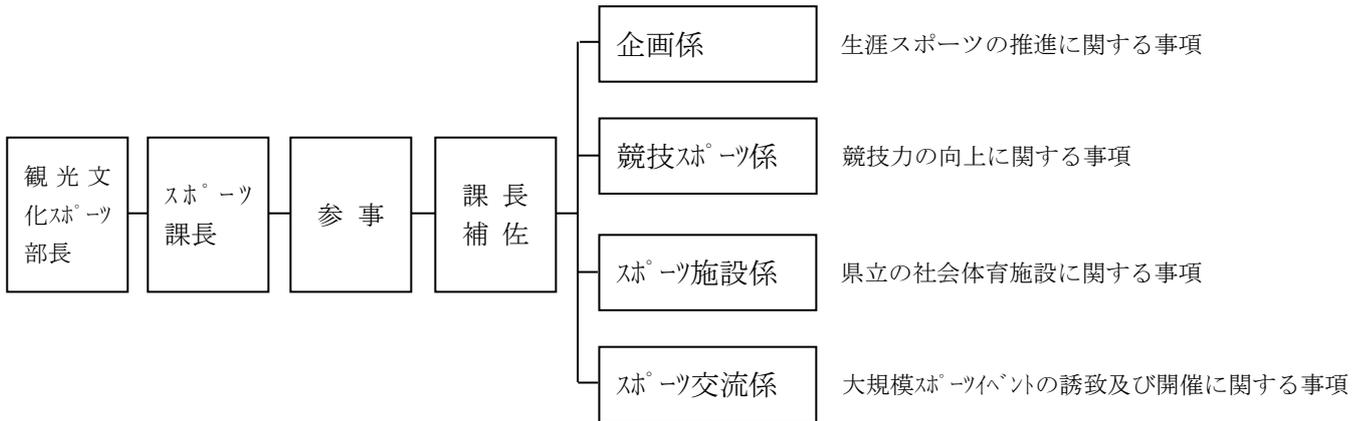
【本県の課題】 少子高齢社会における社会の活力や地域機能の維持

【スポーツ環境の変化】 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催、スポーツ基本法の制定 等

新潟県におけるスポーツ行政の体系



(2) 組織図〔スポーツ課〕



(3) 令和6年度の主要事業〔スポーツ課〕

(予算額 単位：千円)

事業名	R5 当初予算 (一般財源)	R5当初 +R4.2冒頭 (一般財源)	R6 当初予算 (一般財源)	R6当初 +R5.2冒頭 (一般財源)	事業内容
(1) スポーツチャレンジ推進事業	2,670 (2,670)	2,670 (2,670)	2,670 (2,670)	2,670 (2,670)	こどもたちの多様なスポーツ体験機会の確保や若者に関心が高いスポーツ等を普及するため、体験会の開催を支援する。
(2) 新潟県生涯スポーツ推進事業委託費	12,761 (12,761)	12,761 (12,761)	12,761 (12,761)	12,761 (12,761)	スポーツに対する関心・意欲を高め「生涯スポーツ社会」を実現するため、「広域スポーツセンター」を活用した地域スポーツ環境の整備に取り組む。
(3) にいがたヘルス&スポーツマイレージ事業	5,037 (0)	5,037 (0)	5,884 (5,884)	5,884 (5,884)	主にスポーツ実施率の低い世代（働く世代・子育て世代）を対象に、楽しみながら運動や健康づくりに取り組めるよう、スマートフォンアプリを活用し、運動習慣の定着を促進する。
(4) 競技水準向上対策関連事業	237,810 (230,109)	237,810 (230,109)	229,196 (229,196)	229,196 (229,196)	競技水準向上のため、ジュニア選手の育成・強化を図るとともに、国民スポーツ大会候補選手等の競技力強化に取り組む。
(5) [新] アーバンスポーツ等普及促進事業	6,000 (6,000)	6,000 (6,000)	9,240 (9,240)	9,240 (9,240)	アーバンスポーツの普及活動を持続的に行う組織づくりを促進するため、複数の競技団体が連携して取り組む普及イベントの開催を支援する。

R5：アーバンスポーツ普及イベント開催事業

事業名	R5 当初予算 (一般財源)	R5当初 +R4.2冒頭 (一般財源)	R6 当初予算 (一般財源)	R6当初 +R5.2冒頭 (一般財源)	事業内容
(6) [新] にいがたスポーツ タレント 発掘・育成事業	0 (0)	0 (0)	7,760 (3,415)	7,760 (3,415)	スキー人口の拡大と競技力の向上を図るため、小学生対象の運動能力測定や競技体験会の実施により、有望なジュニア選手を発掘し、適性のある種目で育成する。
(7) 国際ユースサ ッカーin新潟 開催負担金	12,000 (10,000)	12,000 (10,000)	12,000 (10,000)	12,000 (10,000)	国内外のユース代表チームと本県選抜チームの交流試合を実施することにより、スポーツを通じた国際交流や本県サッカーの競技力向上を図る。
(8) 交流促進ゆめ づくり事業	8,188 (4,588)	8,188 (4,588)	8,188 (4,588)	8,188 (4,588)	スポーツ人口の拡大や、みるスポーツの振興に向け、地域密着型プロスポーツチームと連携したスポーツ教室や大会等を開催する。